

コメント

1. 流行性耳下腺炎

定点当り3.08人とやや増加しています。MMRワクチンの接種が中止された1993年4月以降では、最も多い報告数となっています。安芸区7.0人、東区6.7人と特に多く、南区、安佐北区、佐伯区ともに3.0人となっています。

2. 水痘

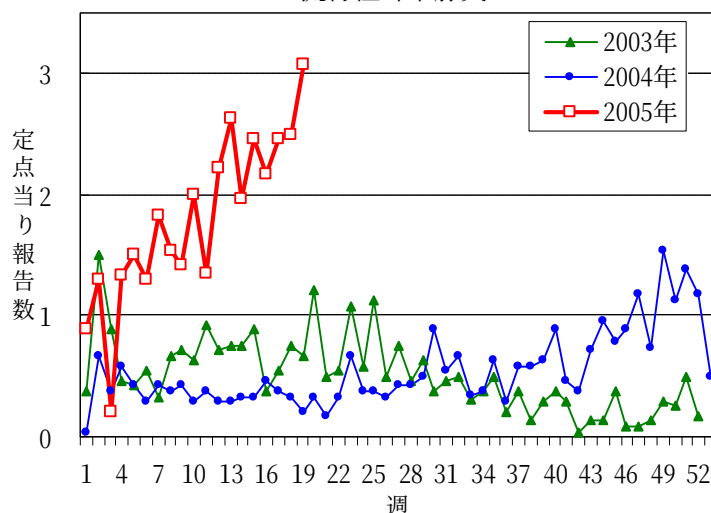
定点当り1.75人と増加しています。佐伯区では3.7人となっています。

3. インフルエンザ

定点当り2.57人と減少していますが、依然としてこの時期としては報告数が多く、しばらくは注意が必要です。

注)前週(第18週)はゴールデンウィークのため、通常より報告数が少なかったため、各疾患の増減の評価及び「5類感染症報告状況」(下表)の発生記号の表示は、第17週の報告数と比較して行っています。

流行性耳下腺炎



5類感染症報告状況 (定点把握対象分)

疾患名	報告数	定点当り	平均 過去5年間 (注1)	発生記号	疾患名	報告数	定点当り	平均 過去5年間 (注1)	発生記号
インフルエンザ 注2)	95	2.57	0.16	◀	麻疹 注3)	-	-	0.16	
咽頭結膜熱	3	0.13	0.14		流行性耳下腺炎	74	3.08	1.10	▶
A群溶血性レンサ 球菌咽頭炎	30	1.25	1.01	▶	RSウイルス 感染症	-	-		
感染性胃腸炎	122	5.08	4.76	▶	急性出血性 結膜炎	-	-	0.10	
水痘	42	1.75	2.28	▶	流行性角結膜炎	11	1.38	1.38	
手足口病	39	1.63	0.39	▶	細菌性髄膜炎	1	0.14	0.09	
伝染性紅斑	8	0.33	0.43		無菌性髄膜炎	1	0.14	0.03	
突発性発しん	14	0.58	0.52		マイコプラズマ 肺炎	1	0.14	0.12	
百日咳	-	-	0.02		クラミジア肺炎 注4)	-	-	-	
風しん	-	-	0.02		成人麻疹	-	-	-	
ヘルパンギーナ	2	0.08	0.14						

急増減	↑	↓	前週と比較しておおむね 1:2以上の増減
増減	↗	↘	前週と比較しておおむね 1:1.5～2の増減
微増減	↖	↙	前週と比較しておおむね 1:1.1～1.5の増減
横ばい	→		ほとんど増減なし

一時的な変動と考えられる場合は、前週との比較ではなく傾向を示しています。また報告数が少なく傾向の判断が不適切と思われるものについては、発生記号を記載していません。

インフルエンザ定点数 37 (小児科定点含む)
小児科定点数 24
眼科定点数 8
性感染症定点数 9
基幹定点数 7

注1) 過去5年間の同時期平均 (定点当り)
注2) 高病原性鳥インフルエンザを除く
注3) 成人麻疹を除く
注4) オウム病を除く

1類～5類感染症報告状況 (全数把握対象分)

類型	疾患名	報告数	累積	備考
3	腸管出血性大腸菌感染症	1	1	女性(10歳未満)・O157

5類感染症報告状況の推移 (定点把握対象分)

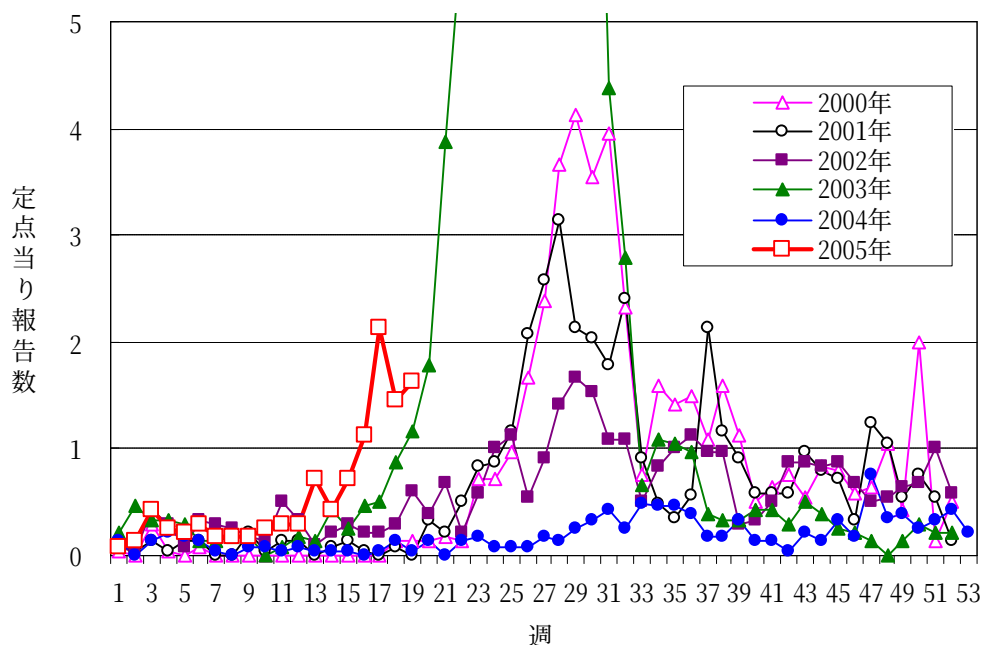
		インフル (注1)	咽頭結膜熱 A群溶血性レンサ 球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	風しん	ヘルパンギーナ	麻しん (注2)	流行性耳下腺炎	RSウイルス 感染症	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ 肺炎	クラミジア肺炎 (注3)	成人麻しん
報告数	広島市	第15週	183	5	15	170	22	17	5	21	2	1	1	59	2	2	-	2	-	-	-
		第16週	270	3	35	160	28	27	8	13	1	1	1	52	-	5	-	2	-	-	-
		第17週	291	3	27	142	20	51	9	16	-	-	-	59	-	4	1	-	-	-	-
		第18週	111	6	13	125	50	35	1	14	-	1	1	60	-	3	-	1	1	-	-
		第19週	95	3	30	122	42	39	8	14	-	-	2	74	-	11	1	1	1	-	-
定点当り	広島市	第15週	4.95	0.21	0.63	7.08	0.92	0.71	0.21	0.88	0.08	0.04	0.04	2.46	0.08	0.25	-	0.29	-	-	-
		第16週	7.30	0.13	1.46	6.67	1.17	1.13	0.33	0.54	0.04	0.04	0.04	2.17	-	0.63	-	0.29	-	-	-
		第17週	7.86	0.13	1.13	5.92	0.83	2.13	0.38	0.67	-	-	-	2.46	-	0.50	0.14	-	-	-	-
		第18週	3.00	0.25	0.54	5.21	2.08	1.46	0.04	0.58	-	0.04	0.04	2.50	-	0.38	-	0.14	0.14	-	-
		第19週	2.57	0.13	1.25	5.08	1.75	1.63	0.33	0.58	-	-	0.08	3.08	-	1.38	0.14	0.14	0.14	-	-
全国		第17週	2.38	0.24	1.41	5.68	1.77	0.27	0.29	0.66	0.01	0.01	0.21	0.90	0.02	0.69	0.01	0.03	0.28	0.01	-
		第18週	1.02	0.22	0.96	4.05	1.74	0.25	0.19	0.52	0.01	0.01	0.23	0.98	0.01	0.66	0.01	0.01	0.15	0.01	-

注1) 高病原性鳥インフルエンザを除く 注2) 成人麻しんを除く 注3) オウム病を除く

新たに判明した病原体検査結果

診断名	患者 年齢	性別	発症 年月日	検査材料	検出病原体
感染性胃腸炎	0	男	2005/04/03	咽頭拭い液 糞便	アデノウイルス6型

【参考】広島市における手足口病の定点当り報告数の推移 (2000年～2005年第19週)



手足口病は、例年5月下旬～6月ごろに流行が始まり、6月下旬～7月にかけてピークになります。

しかし、今年の広島市では、年初から例年よりやや多い水準で推移し、第16週(4月18日～24日)には定点当り1人を超えました。2000年以降では最も早く流行が始まっていますので、注意が必要です。

本週報は、インターネットでもご覧いただけます。

URL <http://www.city.hiroshima.jp/shakai/eiken/center.html>

なお、速報性を重視していますので、今後調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。

この情報の詳細に関するお問い合わせ先

広島市感染症情報センター/広島市衛生研究所 〒733-8650 広島市西区商工センター四丁目1番2号

TEL(082)277-6575 FAX(082)277-5666 E-Mail eiken@city.hiroshima.jp

2005年第19週 (5月9日～5月15日)